

Sustainable Innovation Forum

Interview Video 日本語訳

出演者：執行役専務 LIXIL Housing Technology担当 吉田聡

オープニング：

はじめまして、LIXILでハウジングテクノロジーを担当している吉田です。本日は私たちの環境に配慮した製品や施策についてご紹介できることをうれしく思います。

LIXILは、世界150カ国以上で、建材や住宅設備を、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMなどの製品ブランドを通じて提供している会社です。

現在、約53,000人の従業員が従事しており、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

Q1. 脱炭素社会に向けて、企業の役割は非常に重要であり、世界中の企業が脱炭素社会に向けて積極的に取り組んでいるが、LIXILではそのような取り組みをどう位置づけていますか？

A1：LIXILではパーパス「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に向けて、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品や、窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発し提供しています。

パーパス達成への道筋として経営方向性を示した「LIXIL Playbook」の優先課題の1つに、「環境戦略の事業戦略への統合」があります。世界中の企業がCO₂排出量の削減に取り組む中、LIXILならではの強みを活かして脱炭素に貢献することに取り組んでおり、CO₂排出量を削減するために野心的な目標を設定しています。

Q2. 「環境戦略の事業戦略への統合」を戦略上の優先課題とした背景は？

A2：世界中でCO₂排出量の削減に向けた取り組みが進んでいますが、日本政府も2050年に向けた削減目標を提示していますが、世界のCO₂排出量の約37%が建築物・建築分野のものであることを踏まえると、LIXILの果たせる役割は非常に大きいものと認識しています。

LIXILが提供する製品は、断熱性能に優れ、水資源の効率的な利用を可能とし、衛生環境や健康の向上にもつながるなど、世界中の人びとの暮らしを支えながら、環境負荷の低減に貢献して

います。また、事業プロセスとバリューチェーン全体において、エネルギー効率の向上や、資源利用の効率化を図っています。

さらに、資源の循環利用を促進し、環境や社会に対するインパクト（良い影響）を最大化するために、持続可能かつ事業競争力を備えたビジネスモデルの確立に向けた取り組みを進めています。こういった取り組みを会社の戦略として進めることによって、日本および世界の環境負荷低減に貢献したいと考えています。

Q3. 「環境戦略を事業戦略に組み込む」とは、具体的にどのような取り組みをしているのでしょうか？

A3：LIXILは「環境ビジョン2050」を掲げ、2050年までに事業プロセスと製品・サービスによるCO₂排出量を実質ゼロにすることと循環型の暮らしの実現を目指しています。

私が担当しているハウジング事業では、気候変動対策として窓の断熱化や住宅の高性能化を推進しています。また、資源循環利用の取り組みとして、建設にかかる原材料調達から加工、輸送、建設、回収、廃棄時のCO₂排出量を削減するために、リサイクルアルミ使用比率100%からなる循環型低炭素アルミ「PremiAL R100」や、廃プラスチックと廃木材を融合した循環型素材「Revia」など、低炭素素材の活用を進めています。

Q4：「PremiAL」についてもう少しお話を聞かせてください。

A4：PremiALは、製造時に大量の電力を消費するアルミ新地金をリサイクルアルミ材に置き換えることで、脱炭素化・循環型社会の実現に大きく貢献する商品です。新地金を使用せず、リサイクルアルミを使用することで、CO₂排出量を97%削減することが可能です。

従来、建物の利用時のCO₂排出量であるオペレーショナルカーボンの削減に重点が置かれていましたが、現在、建設時のCO₂排出量であるエンボディドカーボンの削減も考慮した、ライフサイクル全体での環境評価が重要とされています。PremiALは、まさにエンボディドカーボン削減に貢献し、建築物の環境価値向上にも寄与することができる商品です。

PremiALの提供はすでに日本とアジア地域から始まっていますが、世界中にPremiALを提供する準備が整っています。

Q5. SIFが果たす役割とLIXILのパーパスにはどのような繋がりがあるとお考えですか？

A5 : LIXILは本年のCOP29のジャパンパビリオンのセミナーに招待を受け、「PremiAL」をはじめ、弊社が進める脱炭素や資源の循環利用の取り組みについて講演を行います。環境負荷低減を目指すLIXILとしては大変光栄なことです。また、SIFはCOP29最大の民間イベントとして世界中から注目されています。PremiALを世界に展開していくためには、ステークホルダーとの協力が不可欠です。COP29やSIFという機会を通じて発信することで、未来に向けたパートナーの皆さんと繋がりを持てることを期待しています。

主催者であるClimate Actionの皆さんに感謝します。